

第 71 回広島県高等学校新人卓球大会（学校対抗の部）

兼 第 53 回全国高等学校選抜卓球大会（学校対抗の部）広島県予選

競技上の注意

審判長 沓内 惇矢

1. ルール

- (1) 現行の日本卓球ルールならびに高体連特別ルールを適用します。
- (2) ユニフォームは上下とも日本卓球協会公認のウェアを着用してください。主たる色がボールと同じ白色のウェアは着用できません。また、その趣旨からベンチに入る監督、選手の上着等の服装も白色以外のものの着用にご協力ください。なお、広告付きのユニフォームが販売されていますが、着用できませんのでご注意ください。
- (3) 団体戦なのでユニフォームを統一してください。もし、揃わない場合は事前に審判長に申し出てください。2 試合目以降も統一することが原則ですが、汗をかいて着替えるためにやむを得ず揃わない場合はそれを認めます。2 試合目以降で揃わない場合の事前の申し出は不要です。
- (4) 試合前の練習時間は 1 分以内とします。審判は時間を計り、速やかに試合を始めてください。
- (5) 1 マッチにつき 1 回、1 分以内のタイムアウトを取ることができます。また、ゲーム間の休憩も 1 分以内と規定されています。アドバイスが長くならないように注意してください。審判は備え付けのタイマーで時間を計り、1 分経っても選手が台につかない場合は注意をしてください。
- (6) アドバイスについて、「競技者は、アドバイスによって競技が遅れさえしなければ、ラリー中を除いていつでもアドバイスを受けることができる。」となります。ただし、違法にアドバイスをした場合、審判から警告がされることもありますので注意してください。
- (7) サービスの動作はルールに則った正しいサービスを出すよう心掛けてください。ルールの要件を満たしているかどうかを審判が確信できるようにサービスを行うことは、競技者の責任です。
- (8) 必要以上に間を取ることはバッドマナーです。ラリー終了後は速やかにプレーに入ってください。コート内でのミーティングは進行の妨げとなるため、試合終了後は速やかに競技領域を離れてください。

2. 試合形式

- (1) 試合はすべて 4 シングルス 1 ダブルスで、3 番にダブルスを置きます。すべての試合において 1・2 番のシングルスに出る選手同士によるダブルスは組めません。また、シングルスは 1 回しか出られません。個々のマッチは 11 点 5 ゲームズマッチの 3 ゲーム先取です。
- (2) 試合の勝敗はすべて 3 点先取で行います。例えば、5 番の試合が先に終わって勝敗が決まっても 4 番が終わっていない場合は、試合順の通り 4 番の試合を最後まで行ってください。
- (3) 試合はオーダーの順番に従って行ってください。例えば、2 台展開時にダブルスと同時に 4 番のシングルスが可能な場合は実施します。一方で、4 番は不可能だが可能な 5 番を先に実施することはできません。そのようなときは、ダブルス終了後に 4 番と 5 番を行ってください。

3. ベンチ

- (1) ベンチには登録された監督 1 名と選手 8 名までしか入れません。監督は県高体連に監督登録し、今回の大会申込書の監督欄に名前のある方のみとします。もし、当日監督や選手の変更が生じた場合、受付時に本部で「変更届」を記入し、審判長へ提出してください。「変更届」は、本部席横に掲示をします。第 1 試合のオーダー提出時間以後の変更はできません。

(次ページへ続く)

- (2) ベンチの位置は、リーグの上のチーム（トーナメント若番のチーム）が本部席向かって左側、リーグの下のチーム（トーナメント老番のチーム）が本部席向かって右側のベンチとします。

4. ゼッケン・役職者章

選手は必ず本年度のゼッケンを着用してください。もし忘れた場合は、開会式が始まるまでに本部で手続き、購入してください。監督の方は本年度の役職者章を身に付けてください。

5. 進行・審判

【進行】

- (1) 1 日目は男女 A 級の予選リーグと男女 B 級トーナメントの 3 回戦まで、2 日目は男女 A 級の 1 ～ 4 位ならびに 5 ～ 8 位までの順位決定リーグと男女 B 級の決勝までを行います。
- (2) タイムテーブルを参照し、前の試合が終了後速やかにコートに入ってください。開会式では、第 1 試合のある学校のみ、試合のあるコートで待機し、試合のない学校は観覧席に上がってください。
- (3) 第 2 試合以降、前の試合が早く終われば次の試合をすぐに始めます。また、進行が遅くなった場合はコート変更や 4 台展開で実施することもあります。4 台展開時は、最初にダブルス、その後シングルス を 4 つ同時に行います。

【審判】

- (1) 1 日目はすべて相互審判で行います。シングルスは 1 名、ダブルスは主審と副審の 2 名で審判を行ってください。進行の遅れにより 4 台展開をする際は、直前の試合で負けたチームまたは主管地区の選手 4 名にお願いする場合があります。
- (2) 2 日目の A 級の順位決定リーグは試合のないチームで審判をお願いします。B 級は決勝まで相互審判です。

6. オーダー提出

- (1) 1 日目はタイムテーブルで第 1 試合に入っている学校と B 級の 1 ～ 2 回戦で対戦校がすでに決まっている学校は 10 : 20 までに進行席へオーダーを提出してください。なお、対戦校が決まり次第、速やかにオーダーの提出をするようご協力ください。
- (2) 2 日目は第 1 試合のある学校は 9 : 30 までにオーダーを提出してください。第 2 試合以降は 1 日目と同様です。

7. 表彰

A 級・B 級とも男女ベスト 8 まで表彰します。試合終了後、本部席まで来てください。

8. その他

- (1) ラバー貼り替え場所は設けていないので、貼り替えの必要がある選手は本部席に申し出て、指示に従ってください。
- (2) 試合結果は、来年度県総体 A 級・B 級の地区割シード資料となります。
- (3) 第 53 回全国高等学校選抜卓球大会中国地区予選については、次のとおりです。

日 程 12 月 20 日（土）～22 日（月）

会 場 シンヨーオークアリーナ（広島県呉市）

出場枠 男子 6 校、女子 6 校